

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30 年 11 月 14 日

計画の名称	矢巾町における総合的な下水道事業の推進		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	矢巾町
計画の目標			

下水道整備を積極的に行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な公共用水域を確保するとともに生活環境の整備を実現する。

計画の成果目標 (定量的指標)

①下水道処理人口普及率を74% (H27)から76% (H29)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	
	74%	76%	76%	

上段：計画 下段：実施

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,052百万円 1,035百万円	A	1,052百万円 1,035百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0% 0.0%
-------	---------------	-----------------------------	---	-----------------------------	---	---------------------	---	---------------------	---------------------------	---------------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当部署にて事後評価を実施	平成30年10月
	公表の方法
	矢巾町ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段：計画 下段：実施					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29			
都南処理区																
A-1-1	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	駅西・駅前地区準幹線 (未普及対策)	L=0.3km L=0.1km	矢巾町					3 3	
A-1-2	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	煙山・南煙山地区準幹線 (未普及対策)	L=10.6km L=4.0km	矢巾町					270 270	
A-1-3	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	下北地区準幹線 (未普及対策)	L=7.0km L=3.4km	矢巾町					485 374	
A-1-4	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	上赤林地区準幹線 (未普及対策)	L=3.5km L=1.8km	矢巾町					131 131	
A-1-5	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	高田西地区準幹線 (未普及対策)	L=0.9km L=0.6km	矢巾町					16 110	
A-1-6	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	徳田西地区準幹線 (未普及対策)	L=0.8km L=0.8km	矢巾町					7 7	
A-1-7	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠 (汚水)	新設	広宮沢北地区準幹線 (未普及対策)	L=1.6km L=1.2km	矢巾町					110 110	
A-1-8	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	-	-	効率的汚水処理整備計画	アクションプランの策定 アクションプランの策定	矢巾町					20 20	

A-1-9	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	-	-	施設計画の見直し	効率的な事業実施のための計画見直し	矢巾町							10		
																		10	
																	合計	1,052	
																		1,035	

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
											H27	H28	H29						
																	合計		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考	

C 効果促進事業																			
																	上段:計画	下段:実施	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
											H27	H28	H29						
																	合計	0	0
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考	

その他関連する事業																				
計画等の名称																	〇〇市における循環のみちの実現		上段:計画	下段:実施
事業種別		交付対象		要素となる事業名 (事業箇所)		市町村名											全体事業費 (百万円)	備考		
A'-1-1	下水道	矢巾町		岩崎川右岸排水区枝線		矢巾町											70	防安移行元		
A'-1-2	下水道	矢巾町		人孔鉄蓋・汚水管渠更新		矢巾町											20	防安移行元		
A'-1-3	下水道	矢巾町		人孔鉄蓋更新		矢巾町											40	防安移行元		
A'-1-4	下水道	矢巾町		汚水管渠更新		矢巾町											19	防安移行元		
																	50	防安移行元		
																	50	防安移行元		
																	70	防安移行元		
																	31	防安移行元		
全体事業費		合計 (A'+B'+C')		230百万円	A'	230百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))				0.0%	0.0%				
				120百万円		120百万円		0百万円		0百万円										

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																		
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況																		
<ul style="list-style-type: none"> 各地区の下水道整備を進めることにより、下水道処理人口普及率の向上を図ることが出来た。 農業集落排水施設の公共接続事業に着手に向け、方向性を立てることが出来た。 																		
II 定量的指標の達成状況																		
指標①(下水道処理人口普及率)		最終目標値	76%	人/人	目標値と実績値に差が出た要因	民間開発区域及び区画整理地内において、人口が増えてきたため。												
		最終実績値	78%	21,200人 / 27,253人														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																		

3. 特記事項(今後の方針等)																		
平成30年度の下水道事業の概成に向け、引き続き汚水管整備事業を進ていき、良好な生活環境を創造する。																		

(参考様式3) (参考図面)

